

1 この科目の構成について

教 科	外国語	科 目	英語表現 I	単 位	1 単位
対象コース	美術コース	対象クラス	2年7組		
使用教科書	Vision Quest English Expression I Standard				
使用副教材	Vision Quest ビジョン・クエスト総合英語 Vision Quest English Expression I Standard WORKBOOK				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
	<ul style="list-style-type: none">英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。<ol style="list-style-type: none">与えられた話題について、聞き手や目的に応じた発話を通じてのコミュニケーションを図る。与えられた話題について、読み手や目的に応じた作文を通じてのコミュニケーションを図る。聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づいて、情報や考えなどを整理して発表する。
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
	初めに model conversation を通してダイアログの内容とそのレッスンで習得する内容を確認します。Pronunciation や function を通して発音や会話表現などを学習します。これは自ら発信するときに、必要になる知識です。Grammar とそれに続く Exercise では、体系的に文法を学びます。パターンプラクティスを通して、その文法の使い方を覚えます。Use It や準拠 Workbook で運用練習をした後、Expressing や Activity を通して与えられた話題について新しく得た知識なども取り入れて、友達と積極的にコミュニケーションをとる練習をします。
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
(1) 学校	<p>習ったことを積極的に使う 授業内には活動の場が多く取り入れられています。今習ったことをその場で使うことで自分の身につけることができます。</p> <p>ノートの取り方に工夫をする ノートは左が説明、右が Exercise などの演習となります。板書だけでなく、間違ったところや重要なところは線を引いたり、メモをするなどノートを取る際も積極的な姿勢が必要です。</p>
(2) 家庭	<p>復習を必ず行いましょう 復習には準拠の WORKBOOK がそれにあたります。授業だけでは、覚えられる量には限りがあります。家庭で復習をすることで、知識の定着を図りましょう。</p>

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何をを使って評価するのか—
	定期考査 70% 授業への参加状況 10% 課題提出 10% 小テスト 10%
評価における定期考査の割合	
	70%

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
-----------	-----------------------------

- (1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度
主に授業中の活動を通して評価します ①間違いを恐れず、積極的に表現しようとしている ②積極的に周囲とコミュニケーションを図ろうとしているかが評価の観点となります(10%)
- (2) スピーキングやライティングを通して計る表現の能力
Use ItやExpressing, Activityでの発表を通して評価します(10%) ①英語らしい発音で発話している ②自分のことや与えられた課題について話す ③紹介するトピックを決めて、原稿を準備し発表する ④学んだ文法を使って、文章を書くことができる
- (3) リスニングやリーディングを通して計る理解の能力
授業中の課題の点検や提出された課題の内容などを通して評価します。またListening Taskや周囲の活動の理解度なども評価の参考とします(20%)
- (4) 言語や文化についての知識・理解
小テスト(10%)や定期考査(60%)また授業中の課題の解答確認などを通して評価します ・それぞれのページで学んだ文法を理解し、それを知識として定着させている

5 この科目の学習計画について

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—		重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	関	表	理	知
1	4	Lesson 8 How about going to see a musical? (7時間)	(S) 動名詞を用いて、趣味や娯楽について簡単な会話をする。また友人と一緒に1日を過ごす計画を立てる (W) 動名詞を用いて、自分や家族の特技を簡単な文章で書くまた、自分の楽しみについて平易な文章で書く。友人に対し、自分の好きな娯楽と一緒に出かけようように誘うメールを書く		●		●
	5	第1回定期考査					
	6	Lesson 9 I'm for school uniforms (5時間)	(S) 賛成反対の表現を用いて学校の制服についての賛成・反対の意見をグループ内で交換する。意見が別れる事柄の賛否について相手とやりとりをする (W) 分詞を用いて写真の内容について文章で説明する。分詞構文を用いて日本の高校生の一般的な特徴について簡単な文章を書く (L) 学校の制服についての会話を聞いて理解する。学校の制服についての賛成・反対の意見を聞いて内容を理解する (R) 学校の制服についての会話を読んで、その内容を理解する	●	●		
2	7	第2回定期考査					
	8	Lesson 10 How do you spend Christmas? (6時間)	(S) 関係詞を用いて、物事を説明する表現を使う。日本の文化的な物事について、説明や回答をする (W) 関係詞を用いて知人や自分の必要なもの、住んでみたい国や町について簡単な文章を書く。日本の行事についての文章を書く (L) 文化に関する会話を聞いて、その内容を理解する (R) 文化に関する会話を読んで、その内容を理解する		●		●
	9	第3回定期考査					
3	10	Lesson 11 Did you watch the debate on TV last night? (7時間)	(S) 意見を述べたり主張したりするための表現を覚える。日本の少子化の原因や解決策について英語でやりとりをする (W) 比較の表現を用いて、夏と冬を比較したり、最も有名な日本人について簡単な文章を書く。日本の少子化についての文章を書く。日本の社会問題について話し合い、グループの意見を文章としてまとめる (L) 社会問題に関する会話を聞いて、その内容を理解する (R) 社会問題に関する会話を読んで、その内容を理解する。資料となるグラフとその説明の英文をを読んで、必要な情報を入手する		●		●
	11	道徳教育を行います 第4回定期考査					
	12	Lesson 12 I wish my parents were more understanding. (6時間)	(S) 助言や提案をするための表現を使って、相手の悩みについて英語でやりとりをする。架空の出来事についての対応をグループで議論し、最善と思われる策を決定する (W) 仮定法を用いて、「タイムマシンが使えたら」「自分や家族に望むこと」について簡単な文章を書く。自分の悩みについて文章を書く。相手の悩みについて助言を書く。 (L) 悩み事に関する会話を聞いて、その内容を理解する (R) 中身毎に関する会話を読んで、その内容を理解する	●	●		
3	1	第5回定期考査					
	2						
	3						

	<p>(Vision Quest English Expression II) Lesson1 お花見 (4時間)</p>	<p>(W) ①日本語に惑わされることなく適切な主語で英文を書く ②日本語で表記されていない主語を英語で適切に表現する ③主語として使う it をきちんと運用する ④日本の年中行事について、ある程度の長さの英文を書くことが出来る</p> <p>(S) 日本の年中行事について、英文を基に効果的に聴衆に話す (L) 日本の年中行事に関する内容の英文を聞いて理解する (R) 日本の年中行事に関する内容の英文を読んで理解する</p>	●	●	
--	---	--	---	---	--